

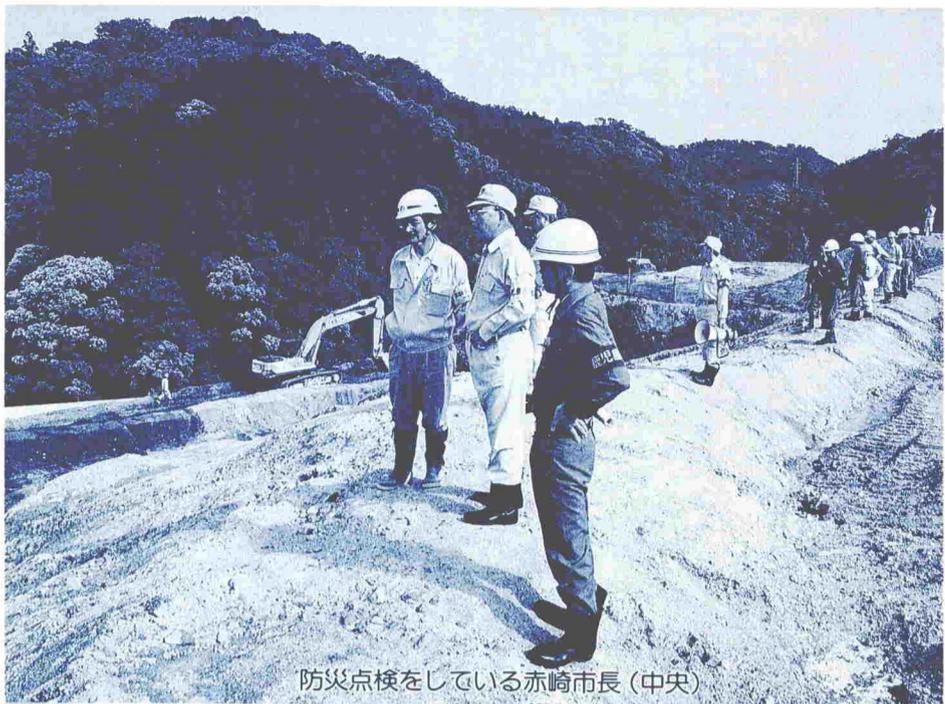
大雨・台風シーズン到来

いざという時のために
大規模災害に備えよう

今年もまた、梅雨や台風のシーズンがやって来ました。昨年は、例年になく台風の接近も少なく、警戒本部の設置回数は2回でした。しかし、九州南部は台風の常襲地帯でもあり、シラスという特殊土壌に覆われていることから、土砂崩れなどの災害が発生しやすく、平成五年の八、六豪雨災害をはじめとして、これまでもたびたび大きな被害を受けてきました。

また、昨年の一月十七日の阪神・淡路大震災による被害も記憶に新しいところです。このように、地震や台風の威力は計り知れないものがありますが、前もって十分な対策をとっておけば、被害を最小限に抑えることができます。「いざ」というときに備えて、日ごろから防災に対する正しい知識を身につけておきましょう。そこで今月は、知っていると「いざ」というときに役立つ防災に関する心得を特集しました。

【防災火山対策課】



防災点検をしている赤崎市長(中央)

大規模災害に備えよう

災害への備えは
日ごろから万全に

自分の家だけは安全だと思っ
ていませんか。そのような思い
込みは禁物。自分の家がどんな
立地条件にあるかを十分認識
し、その対策をたてるとともに
▼側溝や下水の流れ具合
▼風に弱い建物や塀などの補強
▼家屋への浸水に対する備え
などについて、もう一度点検し
てみましょう。特に、がけ崩れ
の恐れのある所では、早めの対
策が必要となります。

また、気象情報に注意し、停
電に備えて懐中電灯やラジオ、
ろうそく、非常食品などの準備
も怠りなく。

自主防災組織を
地域ぐるみの防災を

災害を未然に防いだり、被害
を最小限に抑えるためには、住
民一人ひとりが災害に備えて日
ごろから十分準備しておくこと
はもちろん、その地域全体の安
全を図ることが重要です。特に
災害弱者(高齢者、幼児など)
にとっては、地域内のバックア
ップ体制が不可欠です。
地域全体で防災に取り組むた
めには、まず地域全員が協力で
きる体制をつくり、日ごろから
地域の防災点検や住民参加の防
災訓練などを行うておくことが
大切です。

そのような地域の防災活動を
効果的に行うための組織が、自
主防災組織です。
防災火山対策課では、自主防
災組織をつくりたいと考えてい

る町内会や、すでに結成されて
いる自主防災組織を対象に「防
災研修会」を実施しています。
ぜひ、ご利用ください。

ご利用ください
助成制度

市では、自主防災組織育成の
ために、次のような助成を行っ
ています。
▼自主防災組織結成時に防災資
機材購入のための費用を、十
万円を限度に補助します
▼避難訓練などの防災訓練を行
ったとき、二万円を補助しま
す(原則として年一回)
※自主防災組織のつくり方や防
災訓練の実施などについては、
防災火山対策課にお問い合わせ
ください。

〈非常持出品一覧表〉

貴重品	現金、預金通帳、健康保 険証など
非常食品	乾パン、缶詰、ミネラル ウォーターなど
応急医薬品	傷薬、胃腸薬、お年寄りの 常備薬など
衣類	下着、上着、タオル、 紙おむつなど
携帯ラジオ	予備の電池も忘れずに
照明器具	懐中電灯、ろうそくなど

非常持出品を
準備しておこう

避難するときに、貴重品や非常食
品などをすぐに持ち出せるよう、
ふだんから準備しておきましょう。



いざという時のために!
家庭防災会議を

災害が発生すると、気が動転して冷静な行動がとれないものです。そこで、
日ごろから家庭で防災会議を開いて、災害に備えましょう。

家庭防災会議のチェックポイント

- 避難場所への安全な順路は
- 家族が離ればなれになった時の連絡
先や、最終的に落ち合う場所は
- 幼児やお年寄りの避難は
- 家族の連絡先のメモの準備は
- 非常持ち出し袋の中身と置き場所は
- 隣近所に困っている人がいた時の声
かけ体制は
- 災害が起きたときの各自の役割は
- 家具の転倒防止など、家庭内の防災
対策は



災害が起こる恐れがある場合には、テレビやラジオなどの注意報や警報に注意し、
安全な場所に早めに避難することが大切です。

市では、指定避難所を150カ所設置しています。(避難所の一覧は4ページをご覧
ください)

いざという時のために、自分の避難場所と安全にそこへ行ける避難経路を家族で
確認しておきましょう。

万一、災害にあったときの
制度と問い合わせ先

- ▼市県民税、事業所税の減免
【市民税課、各支所】
- ▼固定資産税、都市計画税の減
免 【資産税課、各支所】
- ▼国民健康保険税の減免
【国民健康保険課、各支所】
- ▼市税の徴収猶予
【納税課】
- ▼国民年金保険料の免除など
【国民年金課】
- ▼保育料、負担金の減免
【保育所など】 【児童家庭課】
- ▼老人ホーム 【高齢者福祉課】
- ▼身体障害者施設および精神薄
弱者施設 【障害者福祉課】
- ▼老人医療費一部負担金の減免
【高齢者福祉課】
- ▼国民健康保険医療費一部負担
金
【高年齢者福祉課】
- ▼市県民税、事業所税の減免
【市民税課、各支所】
- ▼固定資産税、都市計画税の減
免 【資産税課、各支所】
- ▼国民健康保険税の減免
【国民健康保険課、各支所】
- ▼市税の徴収猶予
【納税課】
- ▼国民年金保険料の免除など
【国民年金課】
- ▼保育料、負担金の減免
【保育所など】 【児童家庭課】
- ▼老人ホーム 【高齢者福祉課】
- ▼身体障害者施設および精神薄
弱者施設 【障害者福祉課】
- ▼老人医療費一部負担金の減免
【高齢者福祉課】
- ▼国民健康保険医療費一部負担
金
【高年齢者福祉課】
- ▼生活福祉資金貸付制度
【地域福祉課】
- ▼母子寡婦福祉資金(住宅)貸
付制度
【児童家庭課】
- ▼農林水産関係の災害復旧
【農政課、農林課、畜水産課、
各農林事務所】
- ▼中小企業者に対する災害対策
資金融資制度
【中小企業課、
または各取扱金融機関】

◎詳しくは、お問い合わせくだ
さい。

がけは早めの点検、早めの補修を



防災を進めるために...



防災情報 ここがポイント!

風水害に備えよう

大雨についての防災情報

大雨注意報と大雨警報の違いは?

大雨によって災害が発生する恐れがあるときに発令されるのが「大雨注意報」、さらに重大な災害が発生する恐れがあるときに発令されるのが「大雨警報」です。

鹿児島地方では、別表1の降水量を基準に、大雨注意報・警報が発令されます。

Q 一時間に三十ミリの雨が、イメージがわかりませんが?

A 側溝があふれ、がけ崩れが始まるほどの土砂降りの状態です。一時間三十ミリの雨の状態です。

一坪(たたみ二枚分)の広さの土地に時間雨量三十ミリに相当する水をまこうとすると、約百リットル(ドラム缶に半分)の水が必要になります。

このように自然の威力には計り知れないものがあります。注意報、警報が出たら、早め早めに対応をしましょう。

雨の降り方と雨量のおおよその目安

雨の強さ	おおよその1時間雨量・mm	雨の降り方
弱い雨	1~5	地面がすっかり湿る
雨	5~10	雨の音がよく聞こえ、たちまち水たまりができる
やや強い雨	10~20	雨の音で話も聞き取れない。一面に水たまりができる。この程度の雨が長く続くときは注意が必要
強い雨	20~40	土砂降りや側溝があふれ、小さな川のはらんやがけ崩れが始まる
激しい雨	40~60	バケツをひっくり返したような激しい雨。危険地帯では避難準備が必要
記録的な激しい雨	60以上	滝のように降る雨。しぶきで辺りが白っぽくなる。土石流など大きな災害が発生しやすい

別表1 鹿児島地方の注意報・警報の基準

降水量	大雨・洪水注意報		大雨・洪水警報	
	1時間	3時間	1時間	3時間
30mm以上	60mm以上	50mm以上	100mm以上	
100mm以上	200mm以上	24時間	24時間	

台風についての防災情報

Q 桜島側を通る台風と吹上浜側を通る台風ではどちらが本市により大きな影響を与えるんですか?

A 台風は大きな空気の渦巻きで、強い風が反時計回りに吹いています。そのため、進路の左側より右側の方が強風になりやすく、本市より左側となる吹上浜側を通る台風の方が、被害が大きくなるのが予想されます。

Q 並の強さの台風は、別表2のとおりです。

Q 「並の強さ」の台風は、あまり影響は出ないのでは?

A 台風の大きさや強さを表す目安は別表3のとおりで、「並の強さ」でも一秒間の最大風速は二十五〜三十三メートルとなります。風速が三十メートルともなると家が倒れる場合もあるほどです。

決して「並」は「大した」とはならない。また、台風は熱帯で発生し接近してくるため、多量の水を含んでいます。そのため、台風は暴風とともに大雨をもたらします。雨に対しても、十分に警戒してください。

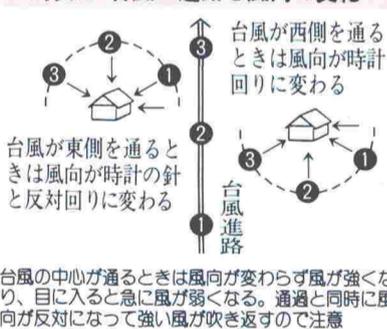
土砂災害についての防災情報

Q 恐い土砂災害に対する普段からの心構えは?

A 土砂災害は、ほとんどの場合、集中豪雨や長雨が原因で発生しています。一時間に二十ミリ以上の雨が降ったり、降り始めからの雨量が百ミリを超えたら危険信号だと言われています。

また、突発的に発生する土砂災害の特徴の一つです。次のような前兆に注意す

別表2 台風の進路と風向の変化



別表3 台風の大きさと強さの分類

大きさの分類	強さの分類	
	程度	階級
ごく小さい	風速15m/秒以上の半径(km) 200未満	弱い 17以上25未満
小型・小さい	200以上300未満	並の強さ 25以上33未満
中型・並の大きさ	300以上500未満	強い 33以上44未満
大型・大きい	500以上800未満	非常に強い 44以上54未満
超大型・非常に大きい	800以上	猛烈な 54以上

風速と被害の状況

- 10m さした雨傘が壊れる。高所の作業は困難になる
- 15m 取り付けの悪い看板が飛ぶ
- 20m 体を30度ぐらい傾けないと立てられない。家屋に被害が開始される。風に向かっては歩きにくい。子どもは飛ばされそうになる
- 25m 屋根がわらが飛ばされる。樹木が折れる。煙突が倒れる
- 30m 雨戸がたわんで敷居からはずれ、吹き抜かれる。しっかりしていない家が倒れる。柱が倒れる
- 35m 列車の車両が倒れる
- 40m 体を45度以上傾けないと倒れる。小石が飛ぶ。歩けないので移動する時ははって動く
- 45m 大抵の木造家屋は倒れる。樹木は根こそぎになる
- 50m 鉄塔が曲がる

図中の風速は10分間の平均風速であり、最大瞬間風速は、平均風速のおよそ1.5~2.5倍に達することもあります。

土砂災害の前兆

- 土石流 川の水が急に濁ったり、川の流れに流木が混ざったりしてきた
- ゴロゴロと川底で石の流れる音がする
- 川の水かさか急に減った
- 地すべり 地面にひび割れができた
- 陥没や隆起が認められた
- 井戸の水が濁った
- 斜面から水が噴き出した
- がけ崩れ パラパラと小石が落ちてきた
- 斜面の途中からのわき水が濁りだした
- 斜面に亀裂が生じた
- 普段聞き慣れない音が斜面から聞こえる

洪水についての防災情報

Q 大洪水が発生し、避難するときに注意することは?

A 洪水の中を避難する場合は、足元には十分に注意し、引きさらは目を離さず、手を引くなどの手助けが必要です。洪水から避難するときのポイントをまとめてみました。

洪水からの避難ポイント5

- 1 はき物** 裸足・長靴は禁物。ひもで締められる運動靴がよい
- 2 ロープでつながって** はぐれないようにお互いの体をロープで結んで避難しよう。特に子どもから目を離さないように
- 3 歩ける深さ** 歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cm。水深が腰まであるようなら無理は禁物。高所で救援を待とう
- 4 足元に注意** 水面下にはどんな危険が潜んでいるのかわからない。長い棒をつえがわりをして安全を確認しながら歩くこと
- 5 子どもやお年寄りを安全に** お年寄りや病人などは背負う。幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保する

大地震に備えよう

昨年の阪神・淡路大震災は、尊い人命や貴重な財産を奪うなど、大きな被害をもたらしました。

地震をくい止めることは、誰にもできません。しかし、災害にあらかじめ備えることはもちろんです。地震発生後の災害を大きくしないための努力はできるはずで、不意に発生する地震による被害をできるだけ少なくするためには、慌てず、そして適切に対処することが大切です。

地震が発生すると、気が動転して冷静な行動がなかなかとれないものです。いざというときの確に対処できるように、『地震の心得10カ条』をしっかりと覚えておきましょう。



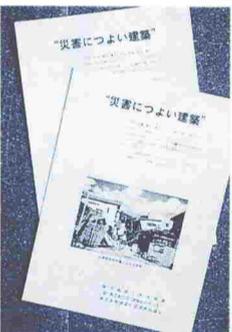
家族を守る 地震の心得 10カ条

<p>⑥ 狭い路地、塀ぎわ、がけや川べりに近寄らない ブロック塀、門柱、自動販売機などは倒れやすいので要注意</p> 	<p>① まずわが身の安全を図れ 何よりも大切なのは命。地震が発生したら、まず第一に身の安全を確保する</p> 
<p>⑦ 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意する 山間部や海岸地帯で地震を感じたら、早めの避難態勢を</p> 	<p>② すばやく火の始末 ～あわてず、さわがず冷静に～ 「火を消せ!」とみんなで声をかけ合い、調理器具や暖房器具などの火を確実に消す</p> 
<p>⑧ 避難は徒歩で、持物は最小限にする 指定された避難場所に徒歩で避難を。車やオートバイは使わない</p> 	<p>③ 非常脱出口を確保する 特に鉄筋コンクリートの建物内にいるときは、閉めたままだと建物や家具がゆがみ、出入口が開かなくなることがある</p> 
<p>⑨ みんなが協力しあって 応急救護 お年寄りや身体の不自由な人、けが人などに声をかけ、みんなで助け合う</p> 	<p>④ 火が出たらまず消火 「火事だ!」と大声で叫び、隣近所にも協力を求め初期消火に努める</p> 
<p>⑩ 正しい情報をつかむ うわさやデマに振り回されない。ラジオやテレビで正しい情報を</p> 	<p>⑤ 外に逃げるときはあわてずに 外に逃げるときは、かわらやガラスなどの落下物に注意し、落ち着いた行動を</p> 

災害に備える 住宅建設のために 防災のための住宅施策



地震、暴風、豪雨、洪水、高潮、津波、火山の噴火、そして大規模な火災や爆発など、発生する災害にはいろいろなものがあります。災害による住宅被害を防ぐために地震をはじめ、シラス台地に覆われている本県に特徴的ながけ崩れ、台風、そして洪水などの災害に強い建築のあり方についてまとめた『災害につよい建築』というリーフレットが作成されています。



災害につよい 建築

【リーフレットの配布】
リーフレットは、建築指導課(市役所東別館四階)、各支所、吉野出張所に置いてあります。
【建築指導課】

【がけ地近接等 危険住宅移転事業】
がけ地の崩壊などの恐れがある危険な場所、建築が制限されている区域にある住宅を安全な場所に移転する制度です。危険住宅の撤去費用と新たな住宅の建設・購入のために金融機関から融資を受けた借入金の利子相当額が補助金(条件により異なります)として交付されますので、ご利用ください。
ただし、昭和四十六年八月三十一日以前に建築された住宅に限ります。

対象	限度額(万円)
除却費など	72.8
建築費	256(割増金 92)
土地取得費	80(割増金105)
造成費	20(割増金 38)

【建築指導課】

【克水住宅の建設】
県では、浸水地域における災害の未然防止のため「克水住宅促進事業」を行っています。この事業は、床上浸水の恐れがある地域が指定された地域に、一定の建設基準を満たす「高床式構造の克水住宅」を建設する人に対して、住宅金融公庫の割増融資五十万円と併せて県が十萬円の助成を行うものです。
【申し込み】
住宅金融公庫の融資申し込みを行った日の翌日から起算して、一カ月以内に行ってください。

【県住宅課 226・8111、住宅金融公庫取扱金融機関】

ご存じですか? 避難の呼びかけ!

避難が必要になったときは、次の方法で呼びかけます。これらの呼びかけに注意し、迅速な行動を心がけましょう。

1 消防車などによる呼びかけ

避難勧告 サイレンを短く鳴らした後、拡声器による呼びかけを行い、これを繰り返します。

避難指示 サイレンを長く鳴らした後、拡声器による呼びかけを行い、これを繰り返します。

同報無線による呼びかけ 災害時に消防車の進入が困難となる地域や郊外地域などは、屋外拡声器や戸別受信機で気象情報や避難勧告などの広報を行います。

テレビ・ラジオでも避難の呼びかけを行います。これらの情報にも、注意してください。




2 非常用サイレンによる呼びかけ

避難勧告 短く鳴らす～休止～短く鳴らす～休止 を繰り返します。

(5秒) (6秒) (5秒) (6秒) (5秒)
—— 休止 —— 休止 ——

避難指示 長く鳴らす～休止～長く鳴らす～休止 を繰り返します。

(1分) (5秒) (1分) (5秒) (1分)
—— 休止 —— 休止 ——

【消防局 警防課 222-0119】

＝自分で確認できます＝ 甲突川などの水位情報

甲突川、稲荷川、新川の3河川に、水位状況が直接電話で確認できる「電話応答式回線」が設置されています。直接電話すると、その瞬間の水位と危険水位、堤防の高さが機械音声で聞けます。1回の所要時間は約20秒です。自主防災活動にお役立てください。

- ◆ 甲突川 『岩崎橋』の水位情報…229-2000
- ◆ 稲荷川 『一ツ橋』の水位情報…248-3163
- ◆ 新川 『田上橋』の水位情報…285-6100



鹿児島市避難所一覽

避難所は下記のとおりです。

安全な順路で近い所に避難しましょう。

※問い合わせは地域福祉課・防災火山対策課へ



避難所名	所在地	避難所名	所在地	避難所名	所在地
◆川上小学校	川上町322	◆甲南高校	上之園町23-1	◆東桜島支所	東桜島町863-1
◆吉野小学校	吉野町2472	◆甲南福祉館	上之園町20-15	◆有村退避舎	有村町62-14
◆吉野東小学校	吉野町5968-1	◆唐湊福祉館	唐湊二丁目5-1	◆紫原小学校	紫原二丁目36-50
◆大明丘小学校	大明丘一丁目18-1	◆武小学校	武一丁目35-31	◆西紫原小学校	紫原四丁目16-4
◆吉野中学校	吉野町3074	◆田上小学校	田上五丁目12-11	◆南小学校	東郡元町13-22
◆吉野東中学校	吉野町5003	◆西陵小学校	西陵一丁目11-1	◆鴨池小学校	真砂本町59-28
◆緑丘中学校	緑ヶ丘町46-1	◆広木小学校	田上町5511	◆鴨池中学校	真砂本町58-58
◆吉野東福祉館	吉野町5192-5	◆西陵中学校	西陵五丁目13-1	◆紫原中学校	紫原六丁目31-19
◆吉野福祉館	吉野町2051-2	◆武中学校	武三丁目42-1	◆紫原福祉館	紫原六丁目14-1
◆川上福祉館	川上町17-2	◆JAかごしま田上支店	田上一丁目13-6	◆真砂福祉館	真砂本町50-7
◆下田町公民館	下田町1171	◆武福祉館	武二丁目28-7	◆西紫原福祉館	紫原四丁目37-2
◆鹿銀行友会館体育館	坂元町1058	◆西陵福祉館	西陵六丁目10-10	◆鴨池福祉館	鴨池二丁目19-17
◆伊敷小学校	伊敷町3073	◆田上福祉館	田上一丁目29-9	◆宇宿小学校	宇宿四丁目21-7
◆西伊敷小学校	西伊敷四丁目12-1	◆田上台福祉館	田上台二丁目40-2	◆向陽小学校	田上町5508-27
◆犬迫小学校	犬迫町5745	◆田上台地公民館	田上台四丁目18-1	◆JA東部	東谷山二丁目22-23
◆小山田小学校	小山田町9398	◆中園公民館	田上六丁目18-50	◆西紫原中学校	西紫原町26-1
◆皆与志小学校	皆与志町4307	◆坂元台小学校	西坂元町58-2	◆東谷山中学校	魚見町120-2
◆花野小学校	花野光ヶ丘一丁目1-1	◆大龍小学校	大龍町11-44	◆宇宿福祉館	宇宿一丁目56-10
◆伊敷台小学校	伊敷町1596	◆清水中学校	稲荷町36-29	◆小松原市民館	小松原一丁目48-6
◆伊敷支所	伊敷町3162-1	◆玉龍高校	池之上町20-57	◆中山小学校	中山町2382
◆伊敷公民館	伊敷町3110-1	◆鹿児島商業高校	西坂元町58-1	◆宮川小学校	皇徳寺台四丁目26-1
◆西伊敷福祉館	西伊敷三丁目16-17	◆鹿児島東高校	東坂元三丁目28-1	◆星峯西小学校	星ヶ峯四丁目9-1
◆かごしま健康の森公園	犬迫町825	◆市福祉コミュニティセンター	祇園之洲町1-2	◆星峯東小学校	星ヶ峯一丁目17-1
◆千年幼稚園	千年一丁目36-1	◆上町福祉館	清水町6-27	◆桜丘西小学校	桜ヶ丘二丁目35
◆草牟田小学校	城山二丁目3-1	◆たてばば福祉館	下竜尾町10-30	◆桜丘東小学校	桜ヶ丘六丁目13
◆玉江小学校	下伊敷一丁目35-1	◆柳町福祉館	柳町3-22	◆皇徳寺小学校	皇徳寺台二丁目50-1
◆鹿児島工業高校	草牟田二丁目57-1	◆坂元福祉館	東坂元二丁目6-2	◆谷山北中学校	山田町1690
◆坂元中学校	玉里団地三丁目45-2	◆磯ビーチハウス	吉野町9684-2	◆皇徳寺中学校	皇徳寺台三丁目35-1
◆鹿児島女子高校	玉里町27-1	◆名山小学校	山下町6-43	◆谷山北福祉館	山田町2034
◆日当平住宅集会室	下伊敷二丁目21-10	◆山下小学校	西千石町15-5	◆桜ヶ丘福祉館	桜ヶ丘五丁目34-2
◆城西公民館	草牟田一丁目21-8	◆長田中学校	小川町3-10	◆皇徳寺福祉館	皇徳寺台二丁目2-2
◆玉里福祉館	玉里町27-38	◆中央公民館	山下町5-9	◆谷山小学校	谷山中央一丁目4962
◆玉里団地福祉館	玉里団地一丁目79-50	◆城南小学校	城南町1-1	◆西谷山小学校	上福元町6464-1
◆JA鹿児島中央下伊敷支店	下伊敷二丁目12-1	◆松原小学校	南林寺町2-18	◆清和小学校	上福元町1277-1
◆鹿児島県立短期大学	下伊敷一丁目52-1	◆甲東中学校	樋之口町4-38	◆谷山中学校	上福元町5500
◆明和小学校	明和二丁目1-1	◆鹿児島中央高校	加治屋町10-1	◆鹿児島情報高校	谷山中央二丁目4118
◆武岡小学校	武岡二丁目30-1	◆南林寺福祉館	南林寺町12-11	◆ラ・サール高校	小松原二丁目10-1
◆武岡台小学校	武岡六丁目1-1	◆松原福祉館	松原町2-24	◆谷山支所	谷山中央四丁目4927
◆武岡中学校	小野町5700-5	◆荒田小学校	荒田一丁目30-27	◆谷山福祉館	谷山中央七丁目33-17
◆JAグリーン鹿児島小野支店	小野三丁目5-1	◆八幡小学校	下荒田三丁目25-1	◆西谷山福祉館	上福元町5740-2
◆小野市民館	小野三丁目13-7	◆中郡小学校	郡元二丁目4-6	◆東谷山福祉館	上福元町1175-1
◆明和福祉館	明和一丁目27-2	◆甲南中学校	高麗町36-32	◆錦江台小学校	錦江台一丁目70-1
◆武岡福祉館	武岡五丁目3-8	◆天保山中学校	下荒田二丁目31-15	◆福平小学校	平川町819-3
◆西田小学校	薬師二丁目31-1	◆八幡福祉館	下荒田二丁目7-33	◆平川小学校	平川町3795
◆城西中学校	城西二丁目3-12	◆東桜島小学校	東桜島町17	◆和田小学校	和田二丁目2-10
◆鶴丸高校	薬師二丁目1-1	◆改新小学校	古里町262	◆錫山小中学校	下福元町9856
◆鹿児島短期大学	永吉町450	◆黒神小学校	黒神町2561	◆和田中学校	和田二丁目44-3
◆城西福祉館	薬師二丁目21-40	◆高免小学校	高免町32	◆福平中学校	平川町6004
◆原良小校区公民館	原良町1342	◆東桜島中学校	東桜島町810	◆坂之上福祉館	下福元町4790-3
◆中洲小学校	上之園町28-1	◆黒神中学校	黒神町647	◆鹿児島経済大学	下福元町8850